

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

<p>教育方針</p> <p>豊かな情操と気品ある人格を育み、 これからの社会を支える 健全な精神を持つ若者を育成する。</p>	<p>夕陽丘教育の4つの柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりの進路希望を実現できる学力を身に付ける学校 2. 自ら考え、行動できるように自主・自律の心を養う学校 3. 国際交流体験を通して自己発見と他者理解を深める学校 4. 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校
<p>「情操」とは 美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良い所に気づき、相手を敬う事が出来る力。</p>	<p>「気品」とは 落ち着いた振舞い、優しい気持ちで、人と接することのできる精神的な美しさ。</p>

2 中期的目標

- 夕陽丘 111 年の歴史と伝統を生かし、地域に貢献する人材を育成する。
- 全ての教育活動にグローバル人材の育成、自主・自律の観点を取り入れる。

1. 「進路希望実現」に関する中期的目標
 - (1) 次期学習指導要領を見据えたカリキュラムマネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。
 - ① 総合的な学習の時間「夕陽学」を軸に、各教科・教育活動の見える化を図る。
 - ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善に取り組む。
 - ③ 指導教諭を中心に、「生徒に身に付いた力」の評価方法について研究する。
 - (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。(平成 28 年度 学校経営推進費事業において取り組む)
 - ④ 各学年の生徒に応じた進路の取組を行う。: スケジュールの早期提供、模試の事前・事後指導、志望理由書の作成
: 志望校決定率 70%以上、国公立・関西5私大(関関同立近大) 200名合格 (H28: 70%、219名)
2. 「自主・自律」に関する中期的目標
 - (1) 基本的な生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。
 - ⑤ 授業以外の学習時間を確保する。
 - ⑥ 基本的な生活習慣を確立し、学習習慣につなげる。遅刻総数 700 以下 (H28: 807)
 - ⑦ 自治会がリードして、行事・部活動に主体的・協働的に取り組む: 自己診断 90%維持 (H28: 生徒 95.3% 保護者 97.1%)
 - (2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。
 - ⑧ 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。
 - ⑨ 教育相談・支援体制を確立し、学校全体での情報共有・合理的配慮に基づいた支援を一層推進する。
 - ⑩ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、疑わしい事案を含め相談できる体制を確立する。
 - ⑪ 防犯・防災体制を日常化し、安心安全な教育環境を整える。
3. 「国際理解教育」に関する中期的目標 (平成 28 年度 学校経営推進費事業において取り組む)
 - (1) YGRと連携し、海外研修を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。
 - ⑫ 海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続、ベトナムフィールドワークを新規企画する。
 - ⑬ グローバルに使える力として英語運用能力を身に付ける。
: 英語学力調査のスコア H31: 500、英検合格率: 受験者の 35% (H28: 英語学力調査のスコア 469、英検 2 級合格率 41%)
 - (2) YGRと連携し、国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。
 - ⑭ 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、双方にとって有効な国際交流を展開する。
: 姉妹校: クラークスタウン高校(アメリカ・ニューヨーク)、鳳新高級中学(台湾)
 - ⑮ 生徒国際交流委員会の定期開催、国際交流新聞の定期発行等、国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。
4. 「国内最高の音楽教育」に関する中期的目標
 - (1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。
 - ⑯ 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。
 - ⑰ 一流の指揮者を招聘して、NHK大阪ホールでの定期演奏会を継続する。
 - (2) 生徒の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。
 - ⑱ 校内のヴィオラホールを活用して、また、近隣病院・小学校、地域での音楽会を実施する。
 - (3) 国内及び海外の大学・音楽学校と連携し、交流や短期留学を促進する。
 - ⑲ 大阪教育大学、大阪芸術大学、台湾、オーストラリア、ハワイの学校と交流を継続する。

※ ⑳上の 1. ~ 4. を含む学校の取組の広報の在り方を検討する。: 中学生対象の説明会、WEBページ、掲示板、学校通信

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	主な実施担当
1 進路希望実現	<p>(1) 次期学習指導要領を見据えたカリキュラムマネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。 (H28 学校経営推進費事業)</p> <p>(2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。</p>	<p>① 総合的な学習の時間「夕陽学」を軸に、各教科・教育活動の見える化を図る。</p> <p>② 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善に取り組む。</p> <p>③ 指導教諭を中心に、府の教育課程説明会や教育センター主催の研修などを受け還元研修を実施したり、「生徒に身に付いた力」の評価方法について研究したりする。</p> <p>④ 各学年の生徒に応じた進路の取組を行う。：スケジュールの早期提供、模試の事前・事後指導、志望理由書の作成</p>	<p>① シラバスを活用し、総合・教科の学習活動がわかる一覧表を作成</p> <p>② 全ての教科で問題解決型学習の実施、ICT活用好事例共有、授業アンケート平均 3.2 以上 (H28:3.26)、大教大「学び舎」等外部研修への参加</p> <p>③ 還元研修：全教科 1 回以上</p> <p>④ 進路講座実施回数 H28 維持、志望校決定率 7 割以上 (H28: 7 割)、国公立・関西 5 私大 (関関同立近大) 200 名合格 (H28:219 名)</p>	
2 自主・自律	<p>(1) 基本的な生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。</p> <p>(2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。</p>	<p>⑤ 授業以外の学習時間を確保する。</p> <p>⑥ 基本的な生活習慣を確立し、学習習慣につなげる。</p> <p>⑦ 自治会がリードして、行事・部活動に主体的・協働的に取り組む</p> <p>⑧ 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。</p> <p>⑨ 教育相談・支援体制を示す組織図を作成し、学校全体での情報共有・合理的配慮に基づく支援をする。</p> <p>⑩ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、疑わしい事案を含め相談できる体制を確立する。</p> <p>⑪ 防犯・防災体制を日常化し、避難所運営を含む危機管理マニュアルを改訂するなど、安心安全な教育環境を整える。</p>	<p>⑤ 学習状況調査 H28 以上 (H28:平日 65 分、休日 100 分)</p> <p>⑥ 遅刻総数 700 以下 (H28: 807)、遅刻撲滅スタンプラリー実施</p> <p>⑦ リーダー研修実施、自己診断 90%以上維持 (H28:95.3%)</p> <p>⑧ あいさつ週間の設定、自己診断 80%以上 (H28:86.3%)、活動回数 10 回以上 (H28: 7 回)</p> <p>⑨ 前期末までに完成</p> <p>⑩ 自己診断 教職員 80%以上 (H28:86.4%)</p> <p>⑪ 5 月中に完成、随時見直し</p>	
3 国際理解教育	<p>(1) YGR (*1) と連携し、海外研修を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。 (H28 学校経営推進費事業)</p> <p>(2) YGR と連携し、国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。 (H28 学校経営推進費事業)</p>	<p>⑫ 海外修学旅行、ベトナムフィールドワークを新規企画・実施する。</p> <p>⑬ グローバルに使える力として英語運用能力・多様性を身に付ける。</p> <p>⑭ 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、双方にとって有効な国際交流を展開する。</p> <p>⑮ 生徒国際交流委員会の定期開催、国際交流新聞の定期発行等、国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。</p>	<p>⑫ 事後アンケートの変容度 20%以上</p> <p>⑬ 英語学力調査のスコア (生徒の 8 割): 475、(H28:469)、英検 2 級合格率: 受験者の 35% (H28:41%)、講座回数: 各学年 1 回以上</p> <p>⑭ 留学生の受け入れ数 (H28: 8 名)、交流回数 (H28: 4 回)、自己診断 85%以上 (H28:86.2%)</p> <p>⑮ 生徒国際交流委員会年 6 回実施、国際交流新聞 3 回発行、大阪文化発信マップの充実</p>	
4 国内最高の音楽教育	<p>(1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。</p> <p>(2) 生徒の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。</p> <p>(3) 国内及び海外の大学・音楽学校と連携し、交流や短期留学を促進する。</p>	<p>⑯ 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。</p> <p>⑰ 一流の指揮者を招聘して、NHK大阪ホールでの定期演奏会を継続する。</p> <p>⑱ 校内のヴィオーラホールを活用して、また、近隣病院・小学校、地域での音楽会を実施する。</p> <p>⑲ 大阪教育大学、大阪芸術大学、台湾、オーストラリア、ハワイの学校と交流を継続する。</p>	<p>⑯ 特別レッスン・公開講座の満足度 100% (H28:100%)、外国語によるレッスン実施</p> <p>⑰ 事後アンケートの満足度 100% (H28:100%)</p> <p>⑱ 校内、近隣病院・小学校、地域での音楽会の実施回数 (H28: 9 回)</p> <p>⑲ 年間 5 回以上</p>	
※広報	広報の在り方を検討する。	⑳ 学校の取組を「届けたい人に届く」「希望する人に届く」形にする。：動画作成、WEB ページ、掲示板、学校通信の見直し	⑳ 中学生対象説明会の本校生徒の参加数 100 名以上、動画 7 月中完成、掲示板月 1 回更新	

* 1 YGR…Yuhigaoka Global Revolution グローバル市民の育成を期して行う学校全体の取組及び委員会